

令和 8 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: 数学B 数研出版

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を数学的に表現し考察する力、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>単元 1 A 等差数列と等比数列</b> <b>【知識及び技能】</b> 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ①数列と一般項 ②等差数列 ③等差数列の和 ④等比数列 ⑤等比数列の和 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 数列の定義、表記について理解している。数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。等差数列、等比数列の和の適切に利用して数列の和を求めらる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。等差数列や等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。等差数列や等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列や等比数列	○	○	○	12
<b>単元 2 B いろいろな数列</b> <b>【知識及び技能】</b> 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められるようにする。数列の規則性の発見に階差数列等が利用できるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 数列に興味・関心をもち、その性質や一般項を考察したり、具体的な問題に活用したりしようとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ①和の記号Σ ②階差数列 ③いろいろな数列の和 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。数列の和Snと第n項anの関係を理解し、数 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。和Σrkについて、既に学んだ等比数列の和と捉えて求めることができる。数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。群数列を理解し、ある <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自然数の2乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の2乗の和の公式を導こうとする意欲がある。数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。群数列に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	12
定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
<b>単元 3</b> <b>【知識及び技能】</b> ・指導事項 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・教材 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> <b>【思考力・判断力・表現力】</b> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>				
<b>単元 4</b> <b>【知識及び技能】</b> ・指導事項 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・教材 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> <b>【思考力・判断力・表現力】</b> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>				
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: 数学B 数研出版

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を数学的に表現し考察する力、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 C 漸化式と数学的帰納法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにする。数学的帰納法の仕組みを理解できるようにする。	・指導事項 ①漸化式 ②数学的帰納法	【知識及び技能】 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。数学的帰納法を用いて等式、不等				
【思考力、判断力、表現力】 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解する。	・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	【思考力・判断力・表現力】 初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。	○	○	○	11
【学びに向かう力、人間性等】 漸化式に興味・関心をもち考察できるようにする。数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	・一人1台端末の活用(場面) 小テストや復習教材の配信等	【学びに向かう力、人間性等】 自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。				
単元 6 D 確率分布	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。	・指導事項 ①確率変数と確率分布 ②確率変数の期待値と分散 ③確率変数の和の積	【知識及び技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。確率変数の確率分布、期待値、分散、標準偏差を求めることができる。				
【思考力、判断力、表現力】 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察する。	・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	【思考力・判断力・表現力】 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。	○	○	○	16
【学びに向かう力、人間性等】 確率変数や確率分布のよさに気づき、積極的に考察する。	・一人1台端末の活用(場面) 小テストや復習教材の配信等	【学びに向かう力、人間性等】 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導く				
2 学期 定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: 数学B 数研出版

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を数学的に表現し考察する力、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>単元 9 D 確率分布</b> <b>【知識及び技能】</b> 二項分布や正規分布について、用語の意味を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 二項分布や正規分布の特徴を理解し、様々な視点からとらえる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 二項分布や正規分布のよさに気づき、積極的に考察する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ①二項分布 ②正規分布 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。日常の身近な問題を統計的に処理するのに、正規分布を利用できる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。				9
<b>単元 10 E 統計的な推測</b> <b>【知識及び技能】</b> 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に活用できるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 標本の抽出方法にいくつか種類があることに興味・関心を持ち、どのような方法があるかを調べる。仮説検定によって様々な判断ができることに興味を持ち、現実の問題の解決に役立てる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ①母集団と標本 ②標本平均の分布 ③推定 ④仮説検定 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 復元抽出と非復元抽出について理解している。母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。大数の法則について理解し、標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。仮説検定 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 現実に行われている様々な調査が全数調査が標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味を持ち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。母平均や母比率の推定に関心を示す				10
<b>単元 11</b> <b>【知識及び技能】</b> ・指導事項 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・教材 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> <b>【思考力・判断力・表現力】</b> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>				
<b>単元 12</b> <b>【知識及び技能】</b> ・指導事項 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・教材 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・一人1台端末の活用（場面）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用（場面）	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> <b>【思考力・判断力・表現力】</b> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>				
定期考査（学年末考査）/返却と解説						

3 学 期